



今年で17回目を数える「あいち国際女性映画祭」は、今や愛知の男女共同参画社会づくりのシンボリックな存在になっています。

現在、着々と準備が進められている今年の映画祭の特長や見所はどこにあるのでしょうか。本映画祭ディレクター木全純治さんと、運営委員の野上照代さん、コーディネーターの斉藤綾子さんの3人に語っていただきました。

**司会** 今年の映画祭は、会期を5日間から9日間に拡大したのを始め、500円の子ども・学生券を新設するなど、今までに無い試みがされています。まず木全ディレクターから今年の映画祭の特長を話していただけますか。

## 短編映画のコンペや映画上映に併せたシンポなど、 新機軸を打ち出した今年の映画祭

**木全ディレクター:** あいち国際女性映画祭を16年続けてきましたが、時代の変化とともに、映画を観るということ自体が変わってきましたね。ですから、映画祭も転換する時期に来ているということで、今年は大きな変革に挑んでいます。

中でも最も大きな特長は、短編映画のコンペティションを実施することです。前からやりたかったことがようやく実現したもので、これから着実に育てていきたい企画ですね。既に全国から若手監督を中心にたくさんの応募をいただいております。映画祭の中で優秀作の上映もしますから是非観ていただきたいものの一つです。

もう一つ新機軸を挙げますと、映画を観て、その持つ意味などを考えてもらうシンポジウムやトーク等を大幅に増やしたことです。今年から企画会議の女性メンバーに、野上さんに加え、新たに斉藤さんにも入ってもらって、いろんなトーク、イベントに参加してもらっています。これまでも監督のトークはありましたが、より幅広く、そして深く理解するきっかけにさせていただくために、様々な企画を盛り込みました。従来型の映画祭にはない大き

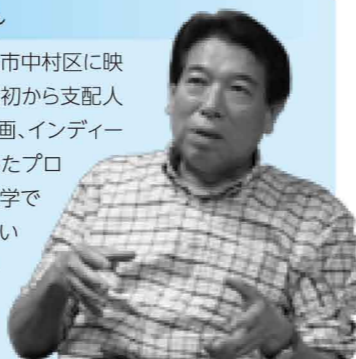
な挑戦であり、多くの観客に受け入れられるよう望みます。

**司会** 上映映画については?

**木全ディレクター:** もちろん、世界の新しい映画、上質な映画を紹介するという映画祭の本来の使命も忘れてはけません。詳しくは、チラシやホームページ (<http://www.aiwff.com>) をご覧いただきたいが、若い人が途中でメールを始めることがないように(笑)、多彩で刺激的なラインナップを用意しましたので、たくさんの方に足を運んでいただいて、大いに楽しんでもらいたいと思います。

### Profile 木全 純治さん

1983年、若松孝二監督が名古屋市市中村区に映画館シネマスコレを開設した当初から支配人として活躍。アジア映画、日本映画、インディーズ作品などいい映画にこだわったプログラム展開を実践している。各大学で映画研究に関する講師も務め、あいち国際女性映画祭では1996年の第1回からディレクターを務めている。



**司会** 次に斉藤さんにお聞きします。新戦力として期待され、今年から企画会議メンバーにも加わられた斉藤さんの映画祭への思いを教えてください。

### 女優・蒼井優の魅力を再発見。

#### 新たな「女性と映画」の見方を提供したい

**斉藤さん:** 私は映画祭に本格的に関わるのは初めてなので、観客として女性映画祭に何を望むか、という点から考えてみました。女性と映画のかかわりを考えるのが女性映画祭のもう一つの機軸だと言えますが、例えばソウル国際女性映画祭のように、最近の女性映画祭では、女性監督の作品上映にとどまらず、女性と映画の関連をかなり広がった捉え方をするようになってきました。「女性映画」という枠組みを発展的に捉え直すことや、映画を観てジェンダーなど社会や文化について語る機会を提供するというのも女性映画祭の魅力になり得るのではないかと思います。

**司会** 斉藤さん自身で企画されたものの見所を解説してください。

**斉藤さん:** 私の企画では、映画研究者として、こういう視点で映画を観るともっと面白いよという提案が出来るというと思っています。具体的には、女性監督と女優や女性脚本家などの枠組みで女性と映画について考えたかったので、今回は蒼井優という私に興味を持っている女優について、上映とトークをすることにしました。女性映画祭で蒼井優が取り上げられるのは意外かもしれませんが、これまで彼女が様々な役柄を演じてきた中で、タナダユキ監督の映画で見せた蒼井優の表情がとても興味深く、そのことについて考えてみたい、と思い

ました。今までフェミニズムや女性映画の文脈で必ずしも取り上げられなかったテーマを扱うことで、新しい女性と映画の見方を提供できればと考えています。

また、最近の若い観客たちは映画の劇場の大スクリーンで観るよりは、インターネットのユーチューブの動画などで見ることも増えていると思いますが、映画はやはり大スクリーンの醍醐味を是非味わって欲しいです。おじいちゃん、おばあちゃんとお孫さんなど、世代を超えて観に来てもらえるといいですね。

### Profile 斉藤 綾子さん



明治学院大学文学部芸術学科教授。専門は映画理論、特に精神分析理論、フェミニズム理論、ハリウッド映画論、女性映画論など。「映画と身体/性」など編著書多数。映画全般に関する幅広い知識と映画をめぐる女性論には定評があり、さまざまな講演会、シンポジウム等でも活躍。今年から、あいち国際女性映画祭コーディネーターを務める。

**司会** 野上さんにお聞きします。黒澤明監督を支えてこられた野上さんは、映画の裏も表も知り尽くしている方で、本映画祭になくてはならない存在です。毎年本映画祭に携わってこられたお立場から、今年の魅力・見所を語っていただけますか。



特集  
「座談会」

## あいち国際女性映画祭2012

Aichi International Women's Film Festival 2012

若い人には背伸びして映画を観、  
映画で勉強して欲しい

**野上さん:**木全さんも言われたけど、今年が一番の特長は映画祭のリニューアルを行ったこと。16年もやって来たんだから、そろそろ新しい方向を考える時期でしょう。財団理事長が先導して刷新に取り組んだことはいのことだし、必要なことだと思います。

例年映画祭に来てくれる人はわりと年齢層が高いのだけれど、映画祭のこれからを考えれば、若い人にももっと観に来てほしいですね。今年は若い人向けにも色々な企画を立てていますが、特に言いたいのは、若い人に媚びるのではなく、若い人には背伸びをして観て、映画で勉強してもらいたいということ。テレビにはない映画のよさに触れてほしいですね。

わからないかもしれないですね(笑)。  
外国の映画祭に行くと、女性スタッフがほんとうによく働いていますよ。日本の女性も、もっともっと勉強して、日本の映画を女性が支える、というようになってほしいですね。

### Profile 野上 照代さん



1950年の「羅生門」から19本の黒澤作品で、記録係やプロダクション・マネージャーなどの仕事で監督を支え続けた。「天気待ち 監督・黒澤明とともに」などのエッセイは、撮影現場の人ならではの視点で描かれ、海外でも高い評価を受けている。2010年に、日本映画発展への功績を称える川喜多賞を受賞。あいち国際女性映画祭の運営委員を初回から務めている。

**司会** 最後に、隣で聞いていた木村理事長、まとめてください。

**木村理事長:**映画をきっかけにして、世代、性、人種を超えて集い、語り合い、友達を作る場になってほしい。映画祭の本来の趣旨をかみしめて、新たな出発をして、より発展させていきたいと思っておりますので、3人の方には、今後ますますご尽力ください。

(12.5.29実施)



**司会** 野上さんも講演などを企画されていますね。

**野上さん:**まず講演をしてもらう戸田奈津子さん(映画字幕翻訳家の第一人者)は、非常な勉強家で、長いキャリアを持つ人なので、彼女の話から大いに刺激を受けて、皆さんが一層勉強するきっかけになればいいですね。

もうひとつ「世界の新人女性プロデューサーが日本語で激論!なぜ映画を作るの?」は、カトリーヌ・カドウ、ショーレ・ゴルパリアン、小坂史子の3人ともおしゃべりするのを楽しみにしているので、大いに盛り上がると思いますよ。司会の私がちゃんと止め役をしないと話が終

# あいち国際女性映画祭2012

Aichi International Women's Film Festival

9月1日(土)から  
9月9日(日)まで

## ウィルあいち会场上映スケジュール

	9/1(土)	9/2(日)
9:00	ウィルホール	大会議室
9:30		
10:00		
10:30	③ 「煉獄エロイカ」 117分 (Lコード40903)	⑥ 「失われた大地」 105分 (Lコード40906)
11:00		⑨ 「私のテヘラン」 95分 (Lコード40909)
11:30		⑤ ゲストトーク
12:00		⑦ 「牧夫、魚を飼う」 88分 (Lコード40907)
12:30		⑩ 「ここに おるんじゃけえ」 97分 (Lコード40910)
13:00	① 「少女の夢 いのちつないで」 80分 (Lコード40901)	
13:30	④ 「鏡の女たち」 129分 (Lコード40904)	⑧ 「ドーナバーばあ 織姫たちの挑戦」 116分 (Lコード40908)
14:00	② 「オム・ ジャンティ・ オム」 162分 (Lコード40902)	
14:30	⑤ 「炎と女」 102分 (Lコード40905)	
15:00		⑧ ゲストトーク
15:30		
16:00		
16:30		
17:00		
17:30		
18:00		
18:30		
19:00		
19:30		
20:00		
20:30		
21:00		

**ウィルあいち チケットガイド**

- 作品別 前売900円 当日1,100円
- 子ども・学生券 前売・当日とも500円
- 講演・トークバトル 前売・当日とも500円
- ショートフィルム2日券 前売・当日とも1,200円

※前売は8/31まで販売。お得なチケット引換券もあります。詳しくはHPで。

	9/3(月)	9/4(火)	9/5(水)	9/6(木)	9/7(金)	9/8(土)	9/9(日)
9:00	大会議室	大会議室	大会議室	大会議室	大会議室	ウィルホール	大会議室
9:30							
10:00							
10:30							
11:00	⑪ 「ドーナバーばあ 織姫たちの挑戦」 116分 (Lコード40911)	⑭ 「密告者と その家族」 84分 (Lコード40914)	⑮ 「カタログン! ロラたちに正義を!!」 83分 (Lコード40918)	⑰ 「失われた大地」 105分 (Lコード40921)	⑲ 「女ばかりの夜」 95分 (Lコード40924)	⑳ 「小さな町の 小さな映画館」 105分 (Lコード40931)	㉑ 「手に手をとって」 140分 (Lコード40934)
11:30							
12:00							
12:30							
13:00							
13:30							
14:00							
14:30							
15:00							
15:30							
16:00							
16:30							
17:00							
17:30							
18:00							
18:30							
19:00							
19:30							
20:00							
20:30							
21:00							

\*開場は20分前です。 \*「チケットぴあ」ウィルホールPコード:550-008 大会議室Pコード:550-009 \*「ローソン」Lコードはスケジュール表に記載 ㉑)ショートフィルム2日券(9月5日・6日券)Lコード:40939

「映画祭座談会」。いかがでしたか?  
今年は、期間を9日間に延長。以下の上映ラインナップで、皆様をお待ちしています。  
また、今回から、チケットに子ども・学生券を新設。講演会や短編映画コンペティション、ゲストのトークバトルをお値打ちに見ただけのチケットもご用意しています。  
期間中、愛知県興行協会主催のスタンプラリーも実施します。映画祭に参加されれば、スタンプを2個集めることができます。  
詳しくは、あいち国際女性映画祭ホームページをご覧ください。http://www.aiwff.com

ツイッター公式アカウントはこちらです。  
▶▶▶ aiwff

また、弥富市でも9月1日に上映します。

### 弥富市会場情報

**日時:**平成24年9月1日(土) 13:30~(入場は13時から)

**作品:**『牧夫、魚を飼う』(中国/字幕作品/日本初公開)  
上映後にゲストトークあり

**場所:**弥富市総合社会教育センター 中央公民館ホール  
弥富市前ヶ須町野方802-20  
TEL0567-65-0002

**チケット:**前売 600円 当日 1,000円  
子ども・学生券 前売・当日とも 500円

### お問合せ先

**ウィルあいち会場**  
あいち国際女性映画祭事務局 052-962-2520  
**弥富市会場**  
弥富市役所総務部秘書企画課 0567-65-1111